

(別添2-10)

## 通信学習実施計画書

### 1 講義を通信の方法によって行う地域

- ・大阪府全域

### 2 添削指導の方法

- ・自宅学習期間の質問方法  
質問は講義時間に行うものとし、電話での個別対応は実施しない  
添削担当講師：中村 公三
- ・添削後、講義での要点の説明および質疑応答
- ・解答・解説の配布
- ・不合格者には、講義終了後個別に質疑応答による添削指導
- ・合格点に達するまでの再課題の実施

### 3 科目別通信学習時間

科目番号・科目名	通信学習時間	通信形式で実施できる上限時間 (別紙3より)
(2) 介護における尊厳の保持・自立支援	5時間	5時間
(3) 介護の基本	3時間	3時間
(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携	7.5時間	7.5時間
(5) 介護におけるコミュニケーション技術	3時間	3時間
(6) 老化の理解	3時間	3時間
(7) 認知症の理解	3時間	3時間
(8) 障がいの理解	1.5時間	1.5時間
(9) こころとからだのしくみと生活支援技術	12時間	12時間

### 4 通信学習課題配布・提出標準日程

添削課題は3回に分けて配布する。

なお、第1回目の配布は開講式の日到手渡しとする。第2回目は、約2週間(14日)後の通学時に、第一回の課題提出と同時に手渡しとする。第3回目は、約2週間(14日)後の通学時に、第二回の課題提出と同時に手渡しとする。

### 5 通信学習課題

- ② 課題種類数 1種類

② 出題形式	第1課題	択一式 8問、	選択式 10問、	記述式 9問
	第2課題	択一式 6問、	選択式 7問、	記述式 13問
	第3課題	択一式 10問、	選択式 7問、	記述式 23問
③ 題数(大問)	「(2)介護における尊厳の保持・自立支援」			10問
	「(3)介護の基本」			7問
	「(4)介護・福祉サービスの理解と医療の連携」			10問
	「(5)介護におけるコミュニケーション技術」			6問
	「(6)老化の理解」			8問
	「(7)認知症の理解」			5問
	「(8)障害の理解」			7問
	「(9)こころとからだのしくみと生活援助技術」			40問

## 6 評価基準

**60点以上を合格とする。**

60点に満たない場合は、再評価を実施するため、別途添削課題を配布する。

なお、再課題は同じ課題を使用する。

再提出は、配布日より14日以内とする。

## 7 通信添削業務受託事業者

(1) 自社で実施する。